

平成 25 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	オートファジーの集学的研究：分子基盤から疾患まで
領域代表者	水島 昇（東京大学・大学院医学系研究科・教授）
研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、日本が世界をリードする研究分野であるオートファジーに焦点を絞り、我が国における同研究の中核的拠点を構築し、オートファジーの分子機構と生理機能における未解決の重要課題の解明を目指すとともに、疾患病態研究を有機的に連携させ、一層の展開を目指す提案である。オートファジーの生物医学的重要性を遺伝学、ノックアウトマウス、構造生物学等の手法で開拓してきた領域代表者のリーダーシップは高く評価でき、さらに計画研究代表者はそれぞれに優れた研究実績を有する。また、本領域を発足させることにより、マテリアル等の共有を通じて、一段と有機的な連携を構築することで十分な成果が期待できる。学術的に高い価値を持つだけでなく、創薬や疾患治療等の臨床医学分野への波及効果も期待される。</p> <p>一方で、成熟しつつある分野であり、今後さらに領域が発展するためには、オートファジーの病態における意義と分子機能を結び付けるとともに、公募研究では、より広い視点、特に臨床的視点を有した研究者の参画を図るなど研究の多様性を担保する必要もあると考えられる。</p>